

日本農芸化学会 2021年度大会 スポンサーシップシンポジウム

講演番号 2DL

日時 3月19日(金) 12:00 ~ 12:50

新型クライオ電子顕微鏡 "CRYO ARM™ 300 II" と コロナ時代の NMR の自動化および遠隔操作の御紹介

新型クライオ電子顕微鏡 "CRYO ARM™ 300 II" のご紹介

クライオ透過電子顕微鏡 (TEM) 法は試料を急速凍結することで溶液中の分子形態を保ったまま試料の観察を行うことができる手法です。近年単粒子解析法や電子線トモグラフィ法と言った三次元再構成法と組み合わせられることにより脚光を浴びています。これらのアプリケーションを高いスループットおよび操作性と共に実現すべく開発されたクライオ電子顕微鏡 "CRYO ARM™ 300" のリリースから約 3 年半、今回新たに "CRYO ARM™ 300 II" をリリースしました。"CRYO ARM™ 300 II" は電子ビーム制御による高速撮像、システム改良による操作性の向上、ハードウェアの安定性向上により、これまで以上のスループット・安定性・ユーザビリティを提供します。本シンポジウムではこれらの新要素、新機能に加えて、最新のワークフローやデータの紹介を行います。



with コロナ時代の NMR 測定自動化と遠隔操作

COVID-19 の拡大に伴い、分析機器においても3密を防ぐために、自動測定機能や遠隔操作機能による無人運転の実現が求められています。日本電子の NMR 装置はネットワーク接続に柔軟に対応しています。複数の測定者による同時操作が可能であり、測定者同士の操作を妨げることのない遠隔操作が可能です。本シンポジウムでは、ネットワーク対応 NMR 装置 "ECZ シリーズ" による NMR 測定の自動化と遠隔操作についてご紹介します。



製品に関するお問い合わせ先はこちらまで



03-6262-3567



03-6262-3577

科学・計測機器営業本部 SI 販売促進室

JEOL  日本電子株式会社